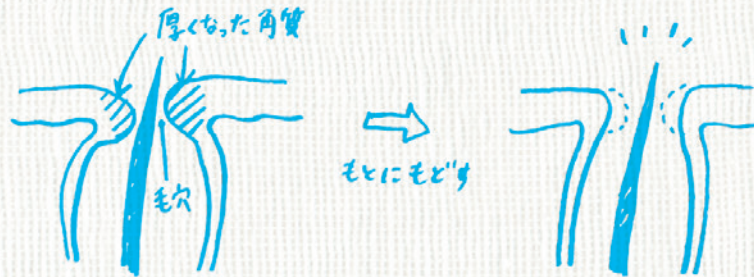


トピック

現在のニキビ治療

ニキビの治療は、お父さんお母さんが若かった頃と現在とでは、ずいぶん変わってきています。以前は、炎症を起こした赤ニキビや膿みをもったニキビに対する抗菌薬による治療が主流で、「ニキビがひどくなったら皮フ科へ」と思われていました。が、現在では新しいタイプの医薬品（成分名：アダバレン）が開発され、赤ニキビのもとになる白ニキビや黒ニキビのような「隠れニキビ」の治療もできるようになったのです。この医薬品は、毛穴が狭くなってつまりかけていても、角質を薄くしてもとにもどす働きがあり、毛穴がつまりないようにすることによって、「隠れニキビ」を治し、新しいニキビをできにくくします。つまり、「隠れニキビ」を治療することによって、くり返しできるニキビを防ぐことができるようになったのです。言わば、今は「ニキビの初期段階で皮フ科へ」という治療に変わったのです。



8

まとめ

- 子どもの皮膚は薄くてバリア機能も未熟
 - ✓ 大人にとっては問題のないことも皮膚トラブルの原因に
 - ✓ おしゃれ、とくに化粧やピアス・パーマでのトラブルに注意
 - ✓ 皮膚トラブルがあったらすぐに使用をやめて皮フ科へ
- 思春期の肌の悩みNo.1はニキビ
 - ✓ たかがニキビと考えない
 - ✓ いじめや不登校の原因になった例も
- ニキビはくり返させない
 - ✓ ニキビ痕になると治らない
 - ✓ 隠れニキビを治療することが大切
 - ✓ ニキビ治療のポイントは皮フ科での早期治療

<参考資料>

意識調査（日臨皮会誌:29(4):528,2012）

■ 皮フ科でニキビ治療をする時の費用は？

皮フ科での治療は、ニキビに限らず費用が心配になることがありますね。皮フ科を受診しない理由として、費用が高いからと答える人がいるのも事実です。しかし実際は、ニキビは皮膚の疾患ですから、多くの場合保険適用となっています。

*治療法によっては保険適用にならない場合があります。